

## 令和5年山武市教育委員会会議第8回定例会会議録

1. 日 時 令和5年8月17日（木）午後2時00分開催
2. 場 所 教育委員会会議室
3. 招集者 山武市教育委員会 教育長 内田 淳一
4. 議 題

### 議決事項

- 議案第1号 山武市議会第3回定例会提出議案（令和5年度山武市一般会計補正予算（第4号））に同意することについて
- 議案第2号 令和5年度（秋）山武地区教育委員会連絡協議会表彰候補者の推薦について
- 議案第3号 山武市議会第3回定例会提出議案（請負契約の締結）に同意することについて

### 報告事項

- 報告第1号 家庭児童相談係が対応しているケースについて
- 報告第2号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について
- 報告第3号 外国人児童生徒の日本語交流会の様子について
- 報告第4号 行事の共催・後援について
- 報告第5号 令和5年9月の行事予定について
- 報告第6号 （仮称）山武市学校給食センター施設整備に関する建築物のBELS評価に基づくZEB認証の取得について

出席委員	教育長	内田 淳一
	教育長職務代理者	木島 弘喜
	委員	北田 昭雄
	委員	伊藤 範子

欠席委員	委員	鈴木 智子
	委員	相葉 英樹

出席した職員の職及び氏名

教育部長	今関 正典
教育総務課長	川島 美雄
子ども教育課長	加藤 直樹
子ども教育課指導室長	高橋 和雄
施設整備課長	嘉瀬 多市
生涯学習課長	渡邊 幹夫
スポーツ振興課長	五木田 吉信
文化会館長	遠藤 正彦

事務局	
教育総務課副主幹	鈴木 敏一
教育総務課総務企画係主事	市東 和洋
教育総務課総務企画係主事	豊田 真衣

◎開 会 午後 2 時00分

教育長

それでは、委員の皆様、御苦労さまでございます。残暑厳しい中、御出席ありがとうございます。台風ですとかハワイの火災ですとか、各地で大きな被害が発生しております。被災された方々にお見舞いを申し上げたいと思います。

それでは、ただいまから、令和 5 年山武市教育委員会会議第 8 回定例会を開会いたします。

本日、相葉委員と鈴木委員が欠席ということで連絡を受けております。よろしく願いいたします。

本日の日程に入る前に、事前に配付しました議事日程について、議決事項と報告事項の追加をお願いしたい件がございます。議案第 2 号の次に議案第 3 号として、山武市議会第 3 回定例会提出議案に同意することについて、及び報告第 5 号の次に報告第 6 号として、（仮称）山武市学校給食センター施設整備に関する建築物のBELS評価に基づくZEB認証の取得についてを教育委員会会議規則第 8 条の規定により議事日程に追加したいのですが、異議ございませんでしょうか。

（「異議なし。」の声あり）

教育長

異議がないようですので、議案第 3 号及び報告第 6 号を加えた議事日程ほか、追加議案と報告の資料を配付させていただきます。

---

◎日程第 1 会議録署名人の指名

教育長

それでは、日程第 1、会議録署名人の指名を行います。  
今回は伊藤委員を指名いたします。よろしく願いいたします。

伊藤委員

はい。

---

◎日程第 2 会議録の承認

教育長

次に、日程第 2、会議録の承認です。  
令和 5 年第 7 回定例会の会議録を事前に配付させていただきましたが、異議ありませんでしょうか。

（「異議なし。」の声あり）

教育長

異議がないようですので、承認といたします。

---

◎日程第 3 教育長報告

教育長

次に、日程第3、教育長報告です。資料の1ページになります。主なもののみ説明をさせていただきます。

7月26日、海外派遣団の第2回事前研修が行われました。

また、同じく26日にスポーツ推進審議会が行われ、昨年度のスポーツ関連事業の概要ですとか、本年度の計画、予算の概要等について報告をいたしました。市民体育祭に代わって行われる予定のエンジョイスポーツin山武2023についても説明をいたしました。

7月27日、山武地区の教職員10団体、校長会ですとか教頭会、山武教育研究会などが合同で実施している山武合同教育講演会に参加をいたしました。講師は、元フジテレビアナウンサーで、現在はフリーで活躍している笠井信輔さんで、3人のお子さんの子育ての苦勞ですとか自分の病気のことなどを、非常に軽妙なトークで、テンポよくお話をいただきました。時間を忘れさせるような講演でございました。

7月29日、山武郡市PTA連絡協議会による指導者地区別研究集会に参加をいたしました。

8月1日、庁議が行われました。

また、同じく1日に、市内小中学校の教頭教務主任等の研修会があり、県教育委員会の首席管理主事から、千葉県における学校教育の現状と課題についてお話をいただきました。

8月2日、部内政策会議が行われました。

また、同じく2日にニュージーランド派遣団第3回事前研修が行われました。

8月8日、第2回社会教育委員会議が開催され、主に市の生涯学習振興大会について協議をしていただきました。

8月9日、ニュージーランド派遣団の第4回事前研修が行われ、現地で披露する合唱やソーラン節の練習等があり、研修生が非常に熱心に取り組んでおりました。この研修が最後の事前研修でございました。

8月15日、庁議が開催されました。

その他、表に記載のとおりでございます。

教育長報告について、何か御質問ございますでしょうか。よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長

続いて、本日の議題について申し上げます。本日は議決事項として議案第1号から第3号の3件、報告事項として報告第1号か

ら第6号の6件となります。そのうち議案第1号及び議案第3号は、教育委員会会議規則第12条第1項第4号の市長または議長に対する意見の申出その他関係機関との協議を必要とする事項に該当することから、また、議案第2号及び報告第1号は、同規則第12条第1項第3号の、個人に関する情報を含み、会議を公開することにより、個人の権利、利益を害するおそれのある事項に該当することから非公開としたいのですが、いかがでしょうか。賛成の方、挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

**教育長**                   ありがとうございます。挙手全員です。よって、議案第1号から第3号及び報告第1号は非公開といたします。

---

◎日程第4 議決事項

○議案第1号

(議案第1号は、非公開につき概要のみ記載)

**教育長**                   それでは、日程第4、議決事項に入ります。ここから非公開となります。

初めに議案第1号、山武市議会第3回定例会提出議案（令和5年度山武市一般会計補正予算（第4号））に同意することについてでございます。

それでは、提案理由の説明を事務局からお願いいたします。

教育総務課長、お願いします。

※教育総務課長から、資料に基づき内容を説明。

※審議の結果原案のとおり可決

---

○議案第2号

(議案第2号は、非公開につき概要のみ記載)

**教育長**                   続きまして、議案2号、令和5年度（秋）山武地区教育委員会連絡協議会表彰候補者の推薦について、事務局からお願いいたします。

教育総務課長、お願いします。

※教育総務課長から、資料に基づき内容を説明。

※審議の結果原案のとおり可決

---

○議案第3号

(議案第3号は、非公開につき概要のみ記載)

**教育長** 続きまして、議案第3号、山武市議会第3回定例会提出議案(請負契約の締結)に同意することについて、事務局からお願いいたします。

スポーツ振興課長、お願いします。

※子ども教育課長から、資料に基づき内容を説明。

※審議の結果原案のとおり可決。

---

◎日程第5 報告事項

○報告第1号

(報告第1号は、非公開につき概要のみ記載)

**教育長** 続いて、日程第5、報告事項に移ります。

報告第1号、家庭児童相談係が対応しているケースについて、事務局から報告をお願いいたします。

子ども教育課長、お願いします。

※子ども教育課長から、資料に基づき内容を説明

**教育長** それでは、ここで非公開を閉じます。

---

○報告第2号

**教育長** それでは、報告第2号に移ります。令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について、事務局から報告をお願いします。

指導室長、お願いします。

**指導室長** 令和5年4月18日に実施された全国学力・学習状況調査の結果の概要を報告いたします。調査内容は、教科に関する調査、国語、算数・数学、中学生のみ英語と生活習慣と学習習慣に関する調査です。全国の小中学校で実施されました。

まず、教科に関する調査についてです。表に小中学校別、教科ごとの正答率を示しました。括弧の中は、前年と比較した増減です。小中学校ともに、各教科、全国平均を下回っております。た

だ、経年で見ると、少しずつその差は小さくなってきていると言えます。

次のページです。各教科の問題別に見ると、全国的にも本市も記述式の問題の無回答率が、選択式に比べて高くなっておりま  
す。無回答が多くなっております。また、正答率も低い傾向にあり  
ます。

各教科で無回答率の高かった問題を別紙に示しました。ホチキ  
スで留めてあるものです。例えば、小学生の国語、一番上の問題  
を御覧ください。設問の1については、左側のページの漢字を問  
うものなので省略してございます。設問の2で、条件に合わせて  
米づくりについての問題点とその解決方法について、レポートの  
四角の中に当たるところを書くという問題です。このような問題  
の無回答率、要するに白紙になってしまう率が全国でも本市でも  
高くなっております。図表やグラフを用いて自分の考えが伝わる  
ように、書き表し方を工夫することに課題があると言えます。

また、その次にも資料がありますが、次は小学校の算数です。  
やはりグラフを見て分かることを記述するということが書けない  
割合が高くなっています。

次は中学生なので、中学生もこれは、一番左側にある問題の設  
問3、まとまりを見つけてそこに表題をつけましょうというよう  
な問題がなかなか言葉が出てこない。

次は、数学です。これも人の考えを読んで、間違っている部分  
を見つけて、そこを正しく説明し直すというようなもの。自分1  
人で答えを出すのではなく、人の間違いを見つけて、そこを修正  
していくというような問題が、なかなか苦手でございます。

最後は英語でございます。左側の英語を読んで、ここにロボッ  
トの利便性が書いてあるんですけども、ロボットの利便性を読ん  
で、この内容にあなたは賛成ですか、反対ですか、その理由も述  
べて簡単に書きましょうという、英語で説明するという問題がや  
はり苦手でございます。英文が読めないとか、あるいは読めたけ  
れども、その理由が思いつかないとか、あるいは思いついている  
んだけど、それを英語で書くことができない、ライティング  
の部分に問題がある傾向が全国的にも本市でも見られました。

説明の資料に戻ります。次に、教科以外で生活習慣や学習環境  
に関する調査についてでございます。全国の結果と比べて特徴的  
な結果のあるところのみ、そこに示してございます。

まず、自分によいところがあると思いますかという問いに対し

て、本市の子供たちは、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の回答率が高くなっております。自己肯定感が高いと言えると思います。

また、その下、「先生はあなたのよいところを認めてくれますか」の肯定的な意見が多いところを考えると、学校の先生たちの対応が子供たちによい影響を与えているのではないかと考えております。

次のページです。国語の授業、数学・算数の授業はよく分かりますか、これも比較的肯定率が高くなっております。学校の授業では、教員が各時間の目標を明確にして、授業をより充実させて、子供たちにさらに力をつけていきたいと思っております。

また（５）、学校の授業以外で平日どれぐらい勉強していますかが、本市は全国に比べると少なめな傾向がございます。一方、授業以外でＩＣＴ機器を活用して勉強している子供もいることが（６）から分かりますので、放課後や休日の学習の在り方については今後の課題と考えております。

報告は以上です。

**教育長**

ありがとうございました。それでは、委員の皆様から何か質問ございますでしょうか。

木島委員、お願いします。

**木島委員**

先生方のすばらしく頑張っているのが、やっぱり自己肯定感、圧倒的に山武市の子供たちは非常に高い。先生方、よく褒めてくれるというようなところで、現場で一生懸命先生方が指導していただいているなというのがすごく伝わってきました。そういう中で、やっぱり（５）の学校の授業時間以外の勉強時間ですよ。これが圧倒的に少ないのは、すぐ分かります。これで平均近くいっているんですからすばらしいと思いますよ。こここのところをみんな考えて、宿題の出し方とか、今、非常に難しいところがあるかと思えますけれども、ここが最も大きな課題だと思いますので、学校の授業時間以外にどのように子供たちに勉強、いわゆる意識をそういうふうにならしていかしていくかというところをみんな検討していったらいいんじゃないかなという、これは意見になりますけれども、そういうところで、そういったところが読み取れましたので、本当に山武市の先生方は一生懸命やってくれている。昨日、この資料を見て本当につくづく思いましたので、課長から

も伝えてください、先生方、頑張っているのは伝わっているよという意味で。

以上です。

**教育長** 事務局から何かありますか。

**指導室長** ここには示していませんが、先生たちは悩みを聞いてくれるも肯定的な評価が高くなっておりますので、今後も頑張りたいと思います。また、放課後については、塾に行っているお子さんもいます。習い事、スポーツをしている子もいますので、一律に宿題を出せばいいというところでもないので、今後、課題として努力していきたいと思います。

**木島委員** よろしくお願ひします。

**教育長** そのほか、何かございますでしょうか。  
北田委員、お願ひします。

**北田委員** 1つは、中学校の英語の正答率が若干低いように聞いていたんですけれども、ライティングの無回答率が多いということが読み取れました。英語検定の取得等に力を入れている中で、その辺がちよっと物足りない、あるいはもったいないなというような印象を受けました。また引き続き、この点につきましてはお願ひしたいと思います。

それから、木島職務代理者からもお話がありましたけども、先生はあなたのいいところを認めてくれていましたと、この回答率、これがひょっとしたら今後、子供たちの学習の伸びにつながっていくんじゃないかな、そういう期待が持たれるようなアンケート結果だったと思います。いずれにしましても、本調査、全国学力・学習状況調査の結果について、各学校においては一喜一憂するということではなくて、今まで話題に上っていましたように、引き続き子供たちの良さを認めつつ、その力を引き出して、その結果、子供たちの学力がついていったらいいと感じますので、そういう指導を引き続き各学校に、教育委員会もお願ひしたいと思います。

以上です。

教育長 指導室長、何かありますか。

指導室長 各学校の傾向はそれぞれ違いますので、それぞれの学校でどの問題ができないのか、どうしたらいいのかは対策を取っていきます。英語については、実はまだスピーキングの部分の結果が来ておりません。ただ、新聞には、全国的にはその部分はかなり低調だったと出ておりましたので、そこも結果が来ましたら、また今後の対応、対策を考えたいと思います。

教育長 スピーキングはどんな回答で、どういうふうを集計したとか、やり方について簡単に説明してもらってもいいですか。

指導室長 スピーキングについては、機械に吹き込むような形で行っております。すいません、今ここに具体的な問題がないので、もう一度整えて説明をさせていただければと思います。

教育長 1人1台端末に話しかけるんですね。

指導室長 はい。1人1台端末に話しかける。

教育長 今、それを集計してもらっているということですか。

指導室長 はい。国が集計をしていて、その結果がまだここにはないので。

教育長 そういう力も今、必要な技能だと言われているので、また集計して、フィードバックをお願いしたいと思います。

指導室長 結果が来ましたら、もう少し具体的に説明できるように整えます。

教育長 そのほかよろしいですか。  
伊藤委員、お願いします。

伊藤委員 国語も算数もですが、自分の考えを書くというところがやっぱり落ちているということです。ですので、私の意見として、子供たちに書く機会をできるだけたくさん与える必要があると思って

いて、そんな長い文章じゃなくて、本当に短い1列でもいいですので、1日の中で自分の考えを書く、そういう時間がつくれたらいいんじゃないかな。それが積み重なっていくと、力も大きなものが出てくるんじゃないかなと思います。書く力をつけるというのは大変難しい。すぐにはできないと思いますが、そういう小さなことから少しずつ始めるのもいいんじゃないかと思います。

また、先ほどから意見が出ていますけれども、自己肯定力、これ、すばらしい。私も本当にそう思いました。自分が駄目だって、前は、自分は駄目だ駄目だという、そういう子供が結構いたということを聞いていますが、自分はできる、先生たちも自分のことを褒めてくれる。これ、すばらしいことですよね。やっぱり褒められて子供って伸びる。大人もそうだと思いますが、褒められて伸びると思いますので、やっぱり山武市のこういう傾向はこれからも続いていったらいいなと思います。

以上です。

教育長 よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長 それでは、先に進みたいと思います。

---

### ○報告第3号

教育長 報告第3号、外国人児童生徒の日本語交流会の様子について、事務局から報告をお願いします。

子ども教育課長、お願いします。

子ども教育課長 それでは、山武市の日本語交流会について説明をさせていただきます。資料は14ページになります。山武市と山武市教育委員会、それから城西国際大学は、外国人児童生徒の日本語教育支援に関わる連携協定を令和5年1月18日に結びまして、そのときの教育委員会会議でも説明をさせていただきました。

その中で、大学の学生が外国人児童生徒に日本語を教えるというものがあまして、その内容の簡単な報告となります。ペースとしましては月1回、夏休みは集中的に多くやっている計画になります。城西国際大学の国際交流学科で、日本と外国人児童生徒の交流について学んでいる学生が、ふだん自分たちの学びを実際に生かす場として、ボランティアでここに来て活動をしてくれて

おります。これは、本市の外国人の子供たちにとっても非常にありがたいことでありまして、ゲームなどを通して日本語を学ぶことができます。

昨年度は、外国人児童生徒の参加がその回によりまちまちであって、少ないときは1人しかいなかったり、多いときは20人ぐらい来たり不安定だったので、今年度は学校で利用しているさくら連絡網というものを活用しまして、事前に参加者の把握をするなどの解消に努めております。写真はその様子の一部で、上段は成東の浪切不動の近くにあるハートフルの近くにあるわくわく館というところで活動をしている様子になります。下段は、夏休みの城西国際大学にお邪魔して活動した様子になります。

説明は以上です。

教育長

ありがとうございました。ただいまの報告につきまして質問等ございましたら、お願いいたします。

私のほうからよろしいでしょうか。わくわく館でやっている活動と城西国際大学でやっている活動があると思うんですけど、学生さんは大体同じ学生さんが参加しているのでしょうか。

子ども教育課長、お願いします。

子ども教育課長

学生は同じ学生でございまして、わくわく館のときは学生さんが電車で来てくださいます。城西国際大学には、保護者が城西国際大に直接送迎して行ってくれるということになっております。

教育長

ありがとうございます。それ以外、よろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり)

教育長

それでは、先に進みます。

---

#### ○報告第4号

教育長

報告第4号、行事の共催・後援について、事務局から報告をお願いします。

教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

資料15ページを御覧ください。7月中に許可をした行事でございしますが、記載の後援2件となります。

報告は以上です。お願いいたします。

教育長

行事の共催・後援について質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

---

○報告第5号

教育長

じゃ、続きまして、報告第5号、令和5年9月の行事予定についてですが、これは事前に資料を御確認いただいていると思いますので、事務局からの説明は割愛させていただきます。

質問等はよろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり)

---

○報告第6号

教育長

続きまして、報告第6号、(仮称)山武市学校給食センター施設整備に関する建築物のBELS評価に基づくZEB認証の取得について、事務局から報告をお願いします。

施設整備課長、お願いします。

施設整備課長

お配りの資料ですが、これを1枚目にさせていただきたいと思います。一番下になっているんですが。緑の紙が2枚目というふうをお願いしたいと思います。大変申し訳ないんですけども、説明がちょっと長くなりますので、よろしくお願いします。

では、報告第6号について説明させていただきます。1枚目の資料、白い紙の資料を御覧ください。本市では、令和2年6月2日に、山武市2050ゼロカーボンシティが宣言されております。このゼロカーボンとは、温室効果ガスの排出量をできるだけ減らし、同時に森林などによる吸収量を増やすことで、排出量と吸収量をプラスマイナスゼロにすることです。施設整備課ではこの取組の一環として、政府によって推進されているZEBの実現、普及に向けて取り組んでおります。まずは、このZEBについて説明いたします。

ZEBとは、学校をはじめとする非住宅建築物を対象とし、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間のエネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。この建物のエネルギーの収支をゼロにするには、大幅な省エネルギーと太陽

光や風力、地熱を利用した再生可能エネルギー、すなわち創エネルギーを大量に必要とします。そこで、収支ゼロエネルギーの達成状況に応じて、4段階のZEBシリーズが定義されています。

1つ目として、省エネ50%以上、創エネ含んで100%以上の省エネはZEB、2つ目として、省エネ50%以上、創エネ含んで75%以上の省エネはNearlly ZEB、3つ目として、省エネのみで50%以上はZEB Ready、4つ目として1万平米以上の建物の省エネ取組はZEB Orientedとなります。当然ながら、1つ目のZEBがエネルギー消費量を100%以上削減でありますので、最も優れた省エネ性能となります。そうした中、給食センターの改築設計において、建築物のライフサイクルを通じた地球環境への負荷低減、最新環境技術を備えたサステナブルな施設整備を目指し、取り組みました。その結果が2枚目の資料の表裏となりますので、御覧ください。緑色の資料です。

ZEBの認証を得るためには、国土交通省が非住宅建築物に関わる省エネルギー性能の表示のためのガイドラインに基づき開始した認証制度、BELSに基づいて、第三者評価機関の評価を受ける必要があります、こちらがその評価書となります。表面中段、評価結果のBEIの数値、マイナス0.06、106%削減となっております。ちょうど真ん中辺りに書かれているんですが。BEIとは、設計での一次エネルギー消費量割る基本となる一次エネルギー消費量となりますので、106%の削減評価は最も優れた省エネのZEBが認証されたこととなります。評価書交付年月日は2023年7月31日となります。評価機関は、第三者評価機関の日本タリアセン株式会社となります。

裏面には、BEIの根拠となる設備ごとの一次エネルギー消費量が記載されております。御覧のとおり、特に省エネでは空調設備や照明設備が大きなウエイトを占めております。

続きまして、3枚目、4枚目の資料を御覧ください。A3の用紙となります。この資料では、ZEB認証対象エリアを示しております。建築物省エネ法では、建築物がある一定の条件下で使われた際のエネルギー消費性能を評価することとされており、工場等における物品を製造するためやサービスを供給するための機械設備が設置されている室、すなわちフロアについては、その使われ方は様々で、計算に必要となる基準値を定めることが困難となり、エネルギー消費の算出に含まないことと定められております。よって、延べ面積2,206.75平米のうち、製造割合の1,443.39平方

メートルが認証の対象外として、黄色の着色した部分、事務所エリアのみ、763.36平方メートルのみ認証の対象としました。

再度、2枚目の資料に戻ってください。緑色の資料になります。BELS評価書の表面に、延べ面積は2,206.75平方メートル、用途は学校給食共同調理場と建物全体の内容が記載されております。この欄には、建築物の確認申請時に発行される確認済み書の記載と合わせるルールによって建物全体が表記されていますので、認証となった対象部分が分かりづらく、補足資料を添付して、認証対象部分を明確にすることとします。

以上説明させていただきましたが、このZEB認証はあくまで計算上での結果でありますので、今後工事が進む上でも、この省エネに対する考え方を反映させるとともに、供用開始後の使用する側の省エネに対する意識、取組が一番重要と考えておりますので、省エネ建築物の利用方法を正しく広めていきたいと考えております。

最後に、この100%以上削減の最も優れた省エネのZEBの全国的な取組について紹介いたします。製造エリアを除いた事務所エリアと限定とはなりますが、地方公共団体での給食センターにおいてのZEB認証は、現時点では全国で初めてとなります。また、地方公共団体の施設全体でのZEB認証は、全国では数件ありますが、県内では初めてとなります。なお、この結果は積極的にマスコミ等に発信して、山武市をどんどんPRしてまいります。説明は以上です。よろしくお願いします。

教育長

ありがとうございました。ちょっと分かりにくいところもあったかもしれませんが、何か御質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

教育長

せっかくエネルギー収支のいい設計をしてもらってありますので、学校等でも、給食を食べながら環境教育に生かしていくことが必要かと思っておりますので、子ども教育課を含めて、そういう取組をぜひお願いしたいと思っております。

では、先に進みます。

---

○その他

教育長

そのほか、報告すべき事項ございますでしょうか。よろしいで

すか。

**北田委員**            ちょっと質問よろしいですか。子ども教育課に質問なんですが、お盆中の学校閉庁について教えてもらいたいんですけど。

**教育長**             子ども教育課長、お願いします。

**子ども教育課長**    今年度の学校閉庁期間は、8月7日から8月16日までの間が閉庁しております。昨日まで閉庁しておりました。その間は、部活動等を一切やらない、学校日直を置かない、電話は留守番電話対応とする等々をしました。  
以上です。

**北田委員**            これは山武市だけの取組ですか。

**教育長**             子ども教育課長、お願いします。

**子ども教育課長**    これは山武郡市統一で同じようにやっております。

**北田委員**            どうしても学校のほうに関心が行っちゃうんですけども、具体的な話になって恐縮ですけど、実は私、大平小学校区で、裏門を通る機会があるんです。7日から16日まで車が一台も駐車場に止まっていなかったんです。ふだんの日、それこそ何台か止めてあるんですけども、要するに、何が言いたいかというと、学校って時間外勤務等でいろいろ今、課題というような指摘をされていますけれども、この期間にゆっくりとした時間を持てる、こういった学校閉庁日を山武地区全体で設定していることはすごくいい、先生方にとってもリフレッシュの時間になるし、また今日から頑張ろうという気持ちにもなってくると思いますので、行政がリーダーシップを取って、そういうふうにやっていくということは非常にいいことだということを、ちょっと裏を通りながら感じました。  
以上です。

**教育長**             そのほか、よろしいでしょうか。  
では、以上をもちまして、教育委員会会議第8回定例会を終了といたします。お疲れさまでございました。

---

◎閉 会 午後 3 時00分